

# 県政に関する質問から(本会議の質問・答弁)

本会議では、6日間にわたって16人の議員が代表・一般質問を行い、県政が直面する課題について、県民の視点に立った議論を展開しました。2次元コードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、各議員の全ての質問の動画を視聴できます。

2月20日 代表質問(要旨)



自民議連  
くぼた やすひさ  
達田 泰久 議員  
(広島市南区)

**令和8年度当初予算案に込めた知事の思い**

**問** 物価高や人手不足、カキのへい死など、本県の喫緊の課題と目指す姿の実現にどう取り組んでいくのか、予算案に込めた思いとともに伺う。

**答** 本県の多彩な宝や魅力を磨き、魅力を高め、県内外の人々の交流により創造性と活力を生み出し、さらに多くの人を引きつけ、経済も成長する好循環により広島を発展させたいという思いを込めた。「人を惹きつける地域づくり」、「県民の安全・安心な暮らしの基盤づくり」、「核兵器のない平和な世界の現実に重点的に取り組むほか、物価高や米関税措置など当面する課題にもしっかりと対処していく。

## その他の質問項目

- 関係人口の拡大
- 人口減少下における地域公共交通の在り方
- 交流人口の増加に向けた観光振興
- 県と広島市との連携
- 県立高校の再編
- 高度医療・人材育成拠点構想



2月24日 代表質問(要旨)



民主県政会  
ひがし やすゆき  
東 保幸 議員  
(広島市安佐北区)

**非核三原則**

**問** 被爆県の知事としての、非核三原則の見直しなど核兵器をめぐる国の動きに対する見解と、非核三原則の堅持に向けた今後の取組について伺う。

**答** 国是である非核三原則は、人類最初の被爆地の知事として絶対に堅持すべきものであり、政府高官からの「日本は核兵器を保有すべき」との発言は到底容認できるものではない。政府には、被爆地の思いをしっかりと受け止め、核兵器使用のリスクを防ぐ唯一の方法は廃絶しかないとの認識の下、非核三原則の堅持と外交の力による核抑止からの脱却に全力を尽くすよう、粘り強く訴えていく。

## その他の質問項目

- 東京一極集中と若者の転出超過の是正
- 県財政に対する現状認識
- 公文書偽造問題と公益通報制度
- 高校の適正規模に対する考え方
- 宿泊税を活用した県内周遊の促進
- 高度医療・人材育成拠点の整備



2月24日 一般質問(要旨)



公明党  
あしはら しゅんじ  
栗原 俊二 議員  
(広島市安佐南区)

**協同労働の県内展開**

**問** 町内会の担い手不足や中山間地域の維持困難などの地域課題の解決に向け、協同労働の仕組みを対策の柱に位置づけて取り組むにはどうか。また、全県展開に向け、どう支援するのか。

**答** 協同労働は、多様な働き方の創出につながる。住民が主体的に地域課題の解決を図る上で有効な手法の一つである。この仕組みを県内に広げるため、フォーラムや出前講座、自治体職員向け勉強会などを実施しており、こうした取組を積極的に情報発信するとともに、市町等と連携しながら、協同労働が地域社会に定着するよう取り組む。

## その他の質問項目

- 東京一極集中と若者の転出超過の是正
- 公文書偽造問題と公益通報制度
- 高校の適正規模に対する考え方
- 宿泊税を活用した県内周遊の促進
- 高度医療・人材育成拠点の整備
- 災害対応力の強化



2月25日 一般質問(要旨)



自民議連  
えにし けんじ  
畑石 顕司 議員  
(広島市東区)

**都市部における県立高校再編の必要性**

**問** 将来学ぶ生徒の視点や中山間地域の維持困難などの地域課題の解決に向け、協同労働の仕組みを対策の柱に位置づけて取り組むにはどうか。また、全県展開に向け、どう支援するのか。

**答** 再編整備計画案は多様な体験・学びができる教育環境を整備するもので、地域や産業界と連携しながら取り組む。再編整備を行う学校が地域や産業の未来を支える人材育成拠点として特色や魅力を発揮できるように、教育資源を優先的に投入したい。

## その他の質問項目

- 国の経済政策を受けた予算編成
- 日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区跡地における複合防衛拠点整備と産業政策
- ワット・ビット連携
- カキの大量へい死対策
- 女性活躍
- 男性の家事・育児参画
- 選ばれる県立高校づくり
- 公益通報の機能不全



2月26日 一般質問(要旨)



自民議連  
くぼた やすひさ  
達田 泰久 議員  
(広島市東区)

**新アリーナ構想**

**問** 新アリーナ構想は、広島市中心部の魅力向上に寄与するものであり、その持続的な運営には官民連携等の検討も必要と考えますが、知事が掲げる関係人口の拡大などのビジョン実現にどう寄与すると考えるか、また、協力要請があった場合どう対応するのか。

**答** 建設候補地は広域的な商業機能等の集積を目指す広島駅周辺地区に位置するため、構想が実現すれば、広島市都心の魅力向上につながり、地域への愛着の醸成、関係人口の増加にも寄与する可能性がある。今後、具体的な要請があれば、どのような協力ができるか検討していく。

## その他の質問項目

- 県全体における授乳室への搾乳表示の推進
- 認知症の支援体制
- ゾンビたばこの蔓延防止
- 今後の未来産業基盤推進に向けた知事の決意
- シェアリングエコノミー
- 渋滞緩和と広島高速道路の利用促進



2月25日 一般質問(要旨)



広志会  
いばら おさむ  
井原 修 議員  
(東広島市)

**東広島市新産業団地の着工**

**問** 来年度に新規着工予定の東広島新産業団地に係る説明会が開催されたが、県のビジョン改定の遅れに伴って道路整備計画や財源の裏づけがまま事業を進めるのか。

**答** 令和8年度当初予算は県政運営の基盤として現行計画を踏襲して継続事業を優先することとした。新たに実施する箇所については、市町の要望なども踏まえ、早期に実施する必要があると判断したが、次期事業別整備計画の策定が10月になることから、今後策定予定の次期中期財政運営方針も踏まえ、改めて市町とも調整しながら、次の5か年計画では正式に選定する。

## その他の質問項目

- ビジョン改定遅延の影響
- 現在の県財政の評価
- 金利上昇を踏まえた財政確保策
- 広島県立病院機構の経営改善
- 県立高等学校の統廃合の進め方
- 県立高等学校に係る地元の存続要望の有無



2月26日 一般質問(要旨)



自民議連  
やち たくひろ  
八幡原 圭 議員  
(三原市・世羅郡)

**稼げる農業への転換**

**問** 食料安全保障の確保は喫緊の課題であり、農業を選ばざるを得ない状況にある。再投資が可能で次世代が家庭を築ける「稼げる農業」への転換をどう具体化するのか。

**答** 農業経営体の育成に加え、多様な主体が連携して農地を有効活用する体制を構築して新規就農者を確保・育成する。スマート農業技術の開発や、農業基盤の再整備と一体的な技術の導入により生産性を向上させ、経営規模の拡大や組織マネジメントに必要なスキルの習得に係る支援の強化により経営力を向上させる。来年度「農地再整備元年」を掲げ全力で取り組む。

## その他の質問項目

- 中山間地域の交通インフラの整備
- いじめ・暴力行為への対応
- 農業生産における気候変動対策
- 多世代共生住宅の導入
- 不登校対策
- 学力の低下への対応



2月26日 一般質問(要旨)



自民議連  
おかの あきひろ  
岡野 齊也 議員  
(尾道市)

**道路維持管理の再構築**

**問** 町内会活動など、地域の善意と努力によって支えられてきた道路維持管理は高齢化や担い手不足により限界を迎えており、これまでの手法の延長では将来にわたって安定的な維持管理を続けることは困難である。人口減少・高齢化が進む中、どのような考え方や方向性の下で取り組むのか。

**答** 地域の担い手不足等の課題が顕在化する中、より効率的・効果的な維持管理が必要である。草刈り等のボランティア活動への支援制度の運用改善をはじめ、必要な予算や担い手の確保、新技術の活用などにより維持管理の充実強化に取り組む。

## その他の質問項目

- 造船業の再生・成長に向けた取組
- 中小企業に必要な支援が届く仕組みづくり
- ヒートショック予防対策
- 高齢運転者の安全と生活を守る対策
- 保育所等の空き定員、空き室の活用

